

9月定例議会

行政報告 (1)

平成21年9月定例議会は、9月8日に開会、9月18日までの会期で開かれました。議会初日には、上程された各議案の大綱質疑、また10日、11日には一般質問が行われました。この後、各常任委員会で付託された議案を審議し、18日の最終日に採決が行われました。9月定例議会の行政報告についてお知らせします。

総務部関係

■総務課

防災関係は、7月18日から19日にかけての豪雨で災害対策本部を設置し、鷹巣・合川・森吉の1121世帯、3245人に避難勧告を出しました。家屋の被害は24件で、住家の床上浸水が2件、床下浸水が12件、非住家の浸水が9件、住家の一部損壊が1件です。



▲18日の深夜に開催された災害対策本部会議

また、冠水や土砂崩れによる通行

止めが18箇所、農地被害600ha、道路等の被害28箇所、被害額は2億6298万4千円となりました。

新型インフルエンザは、8月10日、16日の1週間あたりの全国推計は11万人にのぼる患者が発生し、県内においても55人、8月10日現在の発生状況となっています。県の基本的な対処方針を参考に保健センターで情報収集と適切な相談業務の対応に努めるとともに、各公共施設には手の消毒液を備え予防に努めています。さらに医療体制の整備として、米内沢総合病院に設置している、発熱外来のほか、合川診療所に8月21日に発熱外来センターを設置し診療を開始しており、今後とも対策本部として警戒を強め、集団における患者発生の早期探知と対応に努めます。

■総合政策課

国の平成21年度補正予算による地域活性化・経済危機対策臨時交付金

市民生活部関係

■生活課

市民提案型まちづくり事業補助金の評価市民委員会を開催し、公開プレゼンテーションによる審査の結果、本年度は3件を補助対象事業と決定しました。

阿仁公民館を会場に、県男女共同参画推進事業「ハーモニーフェスタ2009」が開催され、対話劇やパネルトークなどにより、男女共同参画社会づくりの普及促進活動を行いました。

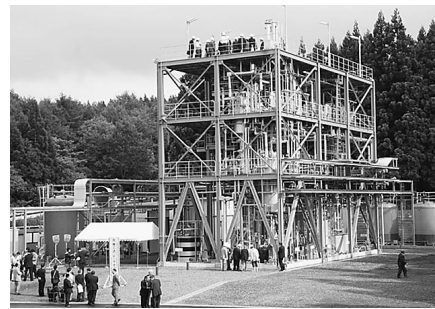


▲「ハーモニーフェスタ2009」でのパネルトーク

4地区で、行政協力委員地区別全体会議を開催し、防犯街灯更新事業、秋田内陸線の乗車運動、火災予防等について説明を行いました。関係機関と住民ボランティアによる、美しいふるさと北秋田クリーンアップキャラバン隊が、国道105

は、道路改良事業や防犯灯更新事業など約2億3千6百万円の事業が発注され、全体事業費に対する発注率は31.6%となりました。

バイオマスタウン構想の事業化計画策定業務は、プロポーザルにより業者選定し委託契約しました。計画策定にあたりバイオマス事業化計画策定委員会を設置し、第1回委員会を開催しました。6月に竣工した木質バイオエタノール製造実証プラントには、8月末現在で7件112人が視察に訪れています。



▲112人が視察に訪れた木質バイオエタノール製造実証プラント

行財政改革大綱は、行財政改革推進委員会から報告された素案のもとに、3回の行財政改革推進本部を開き成案をまとめました。今後は、大綱に掲げた三つの大きな目標である市民と行政の共働によるまちづくり職員の行財政改革への意識改革行政コストの徹底的な削減と収入の

平成21年度北秋田市戦没者追悼式が8月28日に市文化会館で行われ、遺族会会員の約300人が戦没者を偲び、恒久平和の誓いを新たにしました。

前田保育園の車庫新築は、7月3日に工事に着手し8月31日に完成しました。

コウソトリ委員会による、出合いの集い「夏のスーパードレインで角館散策グルメツアー」は9月6日、約50人の参加で秋田内陸縦貫鉄道を利用して行いました。



▲文化会館で行われた平成21年度北秋田市戦没者追悼式

児童扶養手当等の現況届は、対象者282人の現況面接審査を実施し、申請・更新の手続きを行いました。

■高齢福祉課

全国的に認知症の問題が取りざたされていることから、認知症サポーター養成講座」の開催を推進し、地域

確保、の実現を目指し改革に取り組めます。

■内陸線再生支援室
秋田内陸地域公共交通連携協議会が開催され、今年度は国土交通省補助事業の公共交通活性化・再生総合事業により、内陸線列車増発の実証運行、テレビCM作成、内陸線ホームページのリニューアル等の利用促進に向けた事業を実施することになりました。

財務部関係

■財政課

平成21年5月26日、8月14日までの工事等発注状況（500万円以上）は37件、契約額は8億4345万1千円です。

■税務課

平成21年度の市民税の当初課税状況は、納税義務者数が1万6142人、課税額が9億936万3千円です。平成21年度の国民健康保険税の本算定時における課税状況は、課税世帯数は6430世帯、被保険者数が1万502人、調定額が6億861万2900円です。

の自主的な取り組みや地域の支え合いの輪を広めるよう努めます。

■包括支援センター

要支援者を対象とした介護予防支援事業は、7月末現在で55人の新規契約者を含め345人がサービスを利用しています。

地域支援事業における、特定高齢者介護予防業務は、7月末現在で森吉地区83人、阿仁地区31人、合川地区52人、鷹巣地区5人の該当者のうち、41人が事業に参加しています。昨年度までの参加者は、今年度の生活機能評価において一般高齢者へと移行しており、介護予防効果の表れと思われます。包括的支援事業は、総合相談として7月末現在、相談延べ件数は346件となっており、権利擁護関係も81件含まれ、訪問等で対応しています。

■医療推進課

市民病院の指定管理内容の変更に ついての住民説明会を4地区で開催しました。

市民病院建設工事は、8月12日に竣工し、施工者から市に引渡しされました。今後、開院に向けて建物及び設備機器の適切な維持管理に努めます。平成21年5月26日、8月14日までの工事等発注状況（500万円以上）は3件、契約額は3億418万円です。